





**近年の品質向上が目覚ましい、
サンテミリオンの新たなスター。
2005年は衝撃的な品質だ**

パヴィの丘に面するトロロン・モンドは、舊のラ・モンドットや
バヴィ・マカン同様素晴らしいワインを産する。とりわけ有名な
のがサンテミリオンの最少ない女性経営者クリスティーヌ・ヴァ
レレットであり、彼女が80年代にシャトーに参画するやいなヤトロ
ロン・モンドの品質はクワンクンと上がっていった。

今回の取材時、クリスティーヌ・ヴァレレットは手術後の療養のた
め不在だった。代わって氣さくに、また精もしくお対してくれたの
はクリスティーヌの旦那さんであるウサウイエ・パリアンナ(写真
左)と醸造長のジャン・ピエール・タレサン(写真右)。奥さんはか
りにスポットが当たるがダンナのウサウイエはクリスティーヌと
一緒にこのシャトーを共同経営しておりオーナーとなる。奥さん
は販売やマネジメントを担出しながら醸造に携わり、ダンナは純



嘗と栽培の指導を執っている。つまり夫婦二人三脚だ。ちなみにダンナは銅鑿子でトロロン・モンドはヴァレット家のシャトー。

遠くにサンテミリオン町の教会が見えるロケーションも地質環境も良い畑は、全く知らなかったが廻りなくビオロジーに近いリュット・レズネを採用している。この畑から生まれるブドウがトロロン・モンドの力強さとしなやかさと奥深さを作る。そしてこのシャトーにとって福かしい2005年は史上最高の品質と思われる。ほとんど偉大な出来となった。グザヴィエは05年のことを、自然が全てを上手に導いてくれ、畑とブドウの良さがそのまま醸造に活かされテロワールを忠実に再現できた偉大な年と言う。また08年のトロロン・モンドも相当なレベルに仕上がっている。05年というヴィンテージの後なので不幸な立ち位置だ(00年と01年に似ている)。

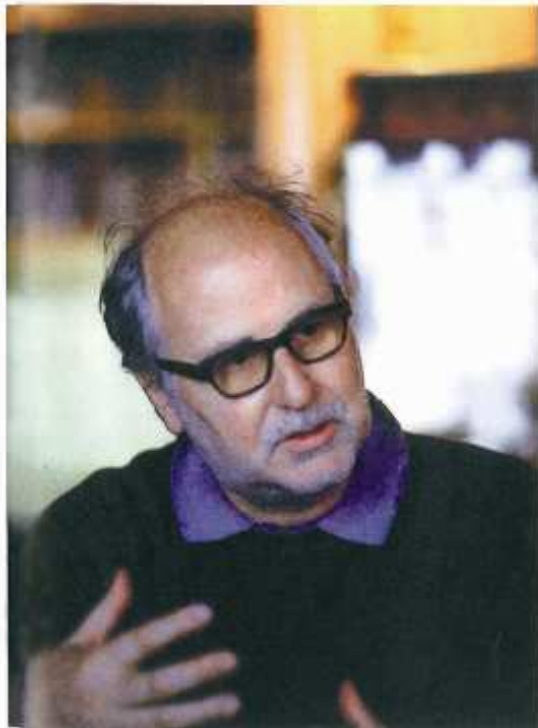
セカンドワインの話をしよう。モンドというセカンドがファーストの品質向上に果たした役割は大きい。ところで一部の優れたセカンドを除き多くのそれは一般的にいわれているほどの品質にはない。ファーストとの品質差の激しさに笑ってしまうしかないよ



畑から見えるサンテミリオン町の中心にある教会

うなワインが多い中、このモンドは結構いける。このワインは葡萄の若い区画、ファーストからの格下げ、イマイチの区画のブドウから出来たもので、生い立ちはセカンドの王道を行っている。

ともかくこのシャトーは順風満帆だ。納得のいく価格のボトルに出会ったら躊躇せずゲットすべきだ。



クリスティーン・ヴァレット文庫の主人、グザヴィエ・バリアンタ氏



醸造長のジャン・ピエール・タレサン氏